

# 種類別明細書(減少資産用)の書き方(記載例)

減少した資産の取得年月を記載してください。  
※減少した年月ではありません。

減少した資産の取得価額を記載してください。  
なお、資産の一部が減少した場合は、当該資産の減少した部分に対応する取得価額を記載してください。  
※取得時(償却率を乗じる前)の価額です。

苓北町より送付しました申告書に印字してありますので転記してください。

令和 年度

## 種類別明細書(減少資産用)

所有者 コード	9	8	7	6	5	4	3	2	1	発 送 番 号
所有者 名	苓北 株式会社									枚の うち 枚目

送付した「種類別明細書」に資産番号が印字してありますので記載してください。

資産の種類訂正の場合  
例：前年申告を誤って6(工具、器具及び備品)でしていたが、実際は2(機械及び装置)であった。  
※同じ内容を増加資産用に記載が必要。

取得価額の訂正の場合(減少する場合)  
例：前年申告で誤った取得価額を記載していた。

更正種類 1 取消	行 番 号	資 産 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月			取 得 価 額				用 年 数	申 告 年 度	減 少 の 事 由 及 び 区 分				摘 要		
					年 号	年	月	十 億	百 万	千	円			1 売 却	2 滅 失	3 移 動	4 其 他		1 全 部	2 一 部
	01	1	フェンス	1	3	4	5	4	5	1	0	1	0	1	2	3	4	1	2	撤去処分
	02	2	電機設備	2	3	4	5	6	1	3		6		1	2	3	4	1	2	890,000(数量3)のうち 445,000(数量2)を廃棄
	03	6	テーブル	1	3	4	5	5	3		8			1	2	3	4	1	2	〇〇市へ移管
	04	6	工作機械	1	3	4	5	5	1	1		5		1	2	3	4	1	2	資産の種類訂正 6 → 2
	05	6	複写機	1	3	4	5	2	0	9		5		1	2	3	4	1	2	取得価額訂正 170,000→160,000
	06				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	07				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	08				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	09				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	10				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	11				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	12				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	13				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	14				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
	15				3	4	5							1	2	3	4	1	2	
			小計																	1 155 000

摘要欄には、次のような事項があれば記載してください。  
①当該資産が減少した理由について、次のような内容を記載してください。  
・「1売却」は売却先の名称等  
・「2滅失」は滅失理由等  
・「3移動」は受入先の情報  
・「4その他」は減少理由等

②減少区分が「2一部」に該当する場合は減少内容を記載してください。

③訂正の場合、どの項目をどのように訂正したかを記載してください。

取得価額を訂正した場合で取得価額が減少するときはマイナス分のみを記載してください。

- 1 構 築 物
- 2 機 械 及 び 装 置
- 3 船 船
- 4 航 空 機
- 5 車 両 及 び 運 搬 具
- 6 工 具 ・ 器 具 及 び 備 品

3. 昭和 4. 平成 5. 令和

苓北町